

8月に入り、陽射しもひととき強く照り付け、暑い日々が続いています。  
みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

### 「新緑の季節…」

小児科診療部長 尾坂 行雄

いつも先生方の大切な患者さまを紹介していただきまして感謝しております。

緑市民病院小児科の尾坂と申します。緑市民病院に赴任して、いつの間にか13年が経ちました。医師人生の中で一番長く勤務してきた病院であり、緑には愛着があります。

Y先輩やT先輩が築いてこられた緑市民病院小児科も以前は小児科医が3人常勤の時期もあり、入院数も多く、新生児医療も行っておりました。新生児や病児の悪化で夜中に呼ばれ、眠い目をこすりながら夜の道を急いだ事を懐かしく思います。

その後、種々の理由で2人常勤になり、又、産科が閉鎖され新生児からは遠ざかりました。

先生方の夕診、土曜診からの紹介をお受けするため、平日は先生方の夕診が終わる時間まで、土曜日は午前中、院内に待機しておりましたが、2人常勤の途中からその体制も消失しました。

そして、ついに平成24年4月純正会への移行に伴い小児科医は私1人になってしまいました。

1人常勤では出来ることも限られ、また悩む症例を相談することもできず、開業医の先生のお役に立てないことも多く、申し訳なく思っています。

しかし、病院全体を見ますと純正会に移行してからは、神谷院長の音頭の下で、明らかに病院の雰囲気が変わってきたと感じます。

純正会に移行する直前の緑は、医局からの医師の派遣はなく医師数は減る一方、スタッフは名古屋市職員のため、いずれ他の職場に変わる予定になっており、病院全体のモチベーションは下がっておりました。

純正会移行時、医師は名古屋市直営の時のメンバーの多くが残っていただきました。

医局以外の部署は人がガラッと変わりましたが、いろいろな病院から、いろいろな経験を積んだ人が集まってくださり、以前よりも活気が出てきて、マンネリ化していた緑の色が鮮やかな緑色に変わってきたように思います。

院内の勉強会・委員会等も盛んに開催され、スタッフ一人一人が前向きな姿勢であることを感じます。

また、純正会になってから夕診が始まりました。以前は夕方になると外来には人はまばらで寂しい雰囲気でしたが、夕診が始まってからは夕方でも人が多く賑やかになり、それに対応する職員の数をもう少し増やしてほしいと思う時もあるほどです。

小児科も火曜日・木曜日ですが夕診に参加させていただいております。

まだまだ患者数は少ないですが、幼稚園・保育園・学校が終わってから駆けつけてくれる方も少しずつ増えております。

また血液検査、画像検査も施行できますので先生方の夕診からの紹介にも対応可能です。午前中の時間と同じようにお気軽にご紹介いただければ幸いです。

小児循環器専門医による循環器外来も月1回で行っておりますので是非ご利用ください。

現在の小児科は十分な体制ではありませんが、総合病院の利点を生かし、他科の協力も得て、患者さまに満足いただける医療を提供していきたいと思っております。

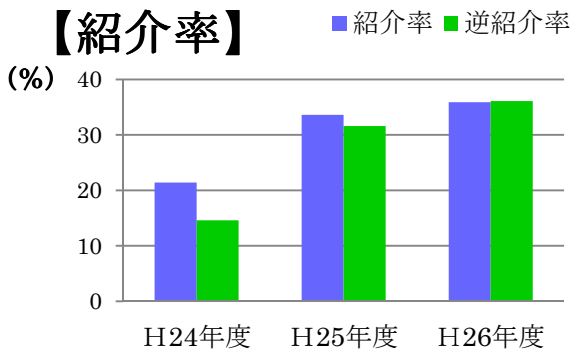
芽生え始めた緑の若葉を育てるのに開業医の先生方のご協力なくしては不可能です。

是非先生方と一緒に、緑の大樹にまで育てさせてください。

どうかよろしくお願ひいたします。

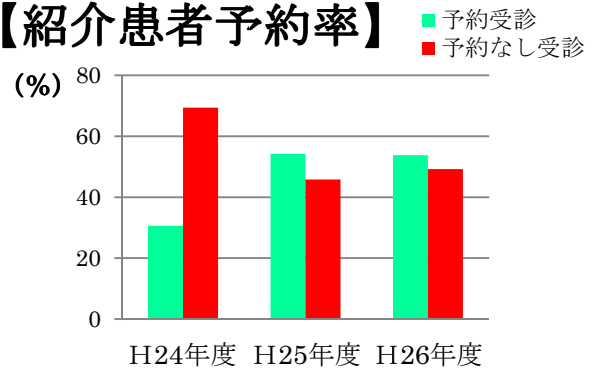


【紹介率】

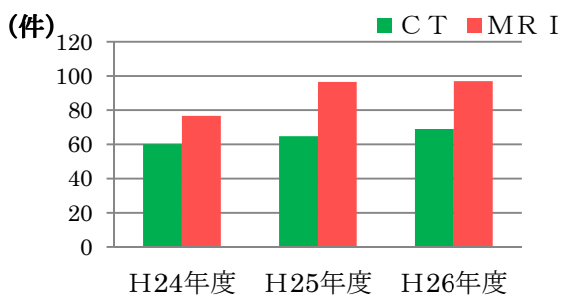


※地域医療支援病院の紹介率で計算

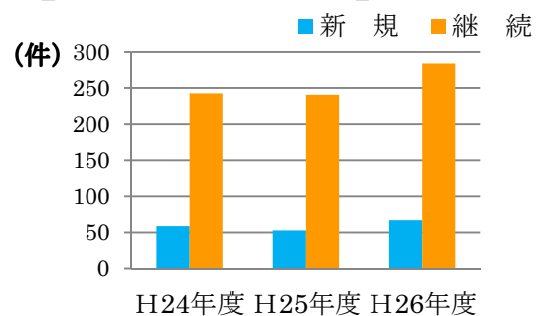
【紹介患者予約率】



【医療機器利用件数】



【医療相談件数】



【休診のお知らせ】

日付	診療科	医師名	内容
8/4・8/18	内科	入谷	休診
8/7	泌尿器科	南館	安積医師へ変更
8/15・8/29	脳神経外科	山本	休診
8/4～8/8	耳鼻咽喉科	小島	代務医師へ変更
8/7・8/21	婦人科	澤田	休診
8/6・9/24	眼科	藤野	休診

【医師・曜日変更

お知らせ】

乳腺外科の遠藤医師より、伊藤由加志医師へ変更になります。曜日は、毎週金曜日になります。

第9回 名古屋市立緑市民病院地域医療研究会

「地域包括ケア病棟」開棟記念講演会 を開催しました。



「地域における在宅医療の役割」  
みどり訪問クリニック 院長 姜 琪 篤 先生



「在宅医療における感染対策：結核他」  
名古屋市緑保健所 所長 稲葉 静代 先生

平成 26 年 7 月 5 日（土）、第 9 回名古屋市立緑市民病院地域医療研究会と「地域医包括ケア病棟」開棟記念講演会を開催いたしました。

医師会の先生方や訪問看護ステーション、当院医師等 73 名が参加し、聴講いたしました。